2027年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年８月６日

上 場 会 社 名　　ムトー精工株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　7927　　URL https://www.muto.co.jp
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　(氏名)　田中　肇
問合せ先責任者　(役職名)　取締役財務担当　(氏名)　金子　貞夫　(TEL) 058(371)1100

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：無
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年３月期第１四半期の連結業績（2026年４月１日～2026年６月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期第１四半期	7,939	12.4	417	△22.4	461	△25.4	315	△24.5
2026年３月期第１四半期	7,062	8.0	537	21.4	618	△12.4	418	△12.4

(注)包括利益　2027年３月期第１四半期　725百万円(　　－%)　2026年３月期第１四半期　△52百万円(　　－%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期第１四半期	45.47	―
2026年３月期第１四半期	59.76	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期第１四半期	32,973	22,062	63.9
2026年３月期	32,563	21,929	64.3

(参考) 自己資本 2027年３月期第１四半期　21,062百万円　2026年３月期　20,951百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	30.00	―	85.00	115.00
2027年３月期	―				
2027年３月期(予想)		58.00	―	59.00	117.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	1.0	2,700	16.1	2,700	△2.5	3,000	50.7	431.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　―　社（社名）　　、除外　―　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期１Ｑ	7,739,548株	2026年３月期	7,739,548株
②　期末自己株式数	2027年３月期１Ｑ	793,562株	2026年３月期	793,562株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年３月期１Ｑ	6,945,986株	2026年３月期１Ｑ	7,000,361株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第１四半期連結累計期間における国内外の経済は、日本においては雇用環境の改善や省力化推進による設備投資の増加などにより、経済活動は底堅く推移したものの、人手不足の常態化、金利・為替の変動、中東情勢に伴う物価上昇やサプライチェーンの混乱など、経営環境は不安定かつ不透明な状況が続いております。海外におきましては、AI関連投資等を背景に、米国を中心に緩やかな成長を維持したものの、中東情勢の緊迫化による地政学リスクの高まりなど不安定かつ不透明な状況が継続いたしました。

当社を取り巻く業界におきましては、家電分野では、デジタルカメラカテゴリーにおいて付加価値の高いミラーレスカメラの需要が好調で、当社ではタイでデジタルカメラ部品の受注が増加を続けております。自動車関連部品では、中東情勢及び米国の関税政策の動向により先行きに不透明感があるものの、得意先からの受注は底堅く推移しております。プリンター部品におきましては、得意先からの受注が堅調に推移しており、電子ペン部品では、ペーパーレス化の導入拡大などを背景に、一定の受注を維持しております。医療機器関連では、高齢化社会を背景とした医療ニーズの高まりに伴い、得意先から安定的に受注を獲得しております。

その結果、当第１四半期連結累計期間における業績は、売上高は79億３千９百万円と前年同四半期と比べ８億７千６百万円(12.4%)の増収、省人化・省力化を図り固定費をはじめとした経費削減に努めたものの、プラスチック原材料の値上げなどにより、営業利益は４億１千７百万円と前年同四半期と比べ１億２千万円(22.4%)の減益、経常利益は４億６千１百万円と前年同四半期と比べ１億５千７百万円(25.4%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は３億１千５百万円と前年同四半期と比べ１億２百万円(24.5%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、主に自動車関連部品やプリンター部品における受注増加に伴い、プラスチック成形事業全体の売上高は増加いたしました。しかしながら、省人化・省力化を図り経費削減に努めたものの、プラスチック原材料の値上げや積極的な設備投資などにより減益に転じました。その結果、当第１四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて77億２千３百万円と前年同四半期と比べ８億２千４百万円(12.0%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は３億１千９百万円と前年同四半期と比べ１億４千５百万円(31.3%)の減益となりました。

② プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門では、セラミック基板の得意先からの受注減少に伴い、減収となりました。一方、検査部門におきましては、自動車向けの各種センサーなどのセラミック基板の検査が好調で、検査機を増設し、大幅な増収となりました。その結果、当第１四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて２億１千７百万円と前年同四半期と比べ５千２百万円(31.6%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は９千７百万円と前年同四半期と比べ２千５百万円(35.0%)の増益となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第１四半期連結会計期間末の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ５千９百万円減少し、207億１千５百万円となりました。受取手形及び売掛金が５億４千３百万円、仕掛品が１億９千２百万円、原材料及び貯蔵品が３億７千５百万円、その他(流動資産)が４億２千３百万円それぞれ増加し、現金及び預金が15億７千３百万円減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ４億７千万円増加し、122億５千８百万円となりました。有形固定資産が２億６千５百万円、投資有価証券が１億３千７百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ４億１千万円増加し、329億７千３百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ４億４千８百万円増加し、79億７千９百万円となりました。支払手形及び買掛金が９億５百万円増加し、賞与引当金が１億２千８百万円、その他(流動負債)が１億８千１百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ１億７千万円減少し、29億３千１百万円となりました。長期借入金が２億３千９百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ２億７千７百万円増加し、109億１千１百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ１億３千２百万円増加し、220億６千２百万円となりました。その他有価証券評価差額金が９千３百万円、為替換算調整勘定が２億９千３百万円それぞれ増加し、利益剰余金が２億７千６百万円減少したことなどが主な要因です。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年６月17日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の内容より変更はありません。

当期の見通しにつきましては、国内外で景気の回復が維持されることが期待されるものの、中東情勢の緊迫化に伴い、エネルギー価格の高騰、石油精製品の品薄等サプライチェーンの混乱などが想定され、不確実性の高い経営環境が続くことが見込まれます。また、今後の為替相場の動向は、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

このような状況の中、当社グループは、柔軟な生産体制を構築し事業環境の変化に備えると同時に、顧客各社の動向を注視し着実な受注活動を行い、世界情勢による様々なリスクに対応していく所存であります。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,873,709	9,300,238
受取手形及び売掛金	4,608,552	5,151,647
電子記録債権	217,193	104,393
商品及び製品	923,580	1,055,165
仕掛品	1,382,836	1,574,959
原材料及び貯蔵品	2,120,510	2,495,534
未収入金	117,103	78,021
その他	532,513	956,016
貸倒引当金	△945	△904
流動資産合計	20,775,055	20,715,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,502,322	4,466,445
機械装置及び運搬具（純額）	2,917,338	3,170,510
土地	2,089,263	2,090,714
リース資産（純額）	273,027	267,156
建設仮勘定	198,715	215,196
その他（純額）	547,887	583,985
有形固定資産合計	10,528,554	10,794,008
無形固定資産	337,801	403,716
投資その他の資産		
投資有価証券	571,739	708,799
繰延税金資産	138,719	142,775
その他	211,585	209,422
貸倒引当金	△125	△125
投資その他の資産合計	921,919	1,060,872
固定資産合計	11,788,275	12,258,597
資産合計	32,563,331	32,973,670

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,458,029	3,363,971
短期借入金	2,248,600	2,198,800
1年内返済予定の長期借入金	999,184	984,184
未払法人税等	291,026	210,710
賞与引当金	254,794	126,527
関係会社整理損失引当金	12,732	10,283
その他	1,267,202	1,085,224
流動負債合計	7,531,570	7,979,702
固定負債		
長期借入金	1,859,312	1,619,516
長期未払金	120,185	120,185
繰延税金負債	418,760	475,330
役員退職慰労引当金	29,928	30,753
退職給付に係る負債	400,319	417,366
その他	274,194	268,780
固定負債合計	3,102,700	2,931,932
負債合計	10,634,270	10,911,634
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,255,557	2,255,485
利益剰余金	13,163,529	12,886,640
自己株式	△718,764	△718,764
株主資本合計	16,889,283	16,612,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	378,410	472,274
為替換算調整勘定	3,683,784	3,977,647
その他の包括利益累計額合計	4,062,195	4,449,922
非支配株主持分	977,581	999,792
純資産合計	21,929,060	22,062,036
負債純資産合計	32,563,331	32,973,670

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
売上高	7,062,952	7,939,333
売上原価	5,628,744	6,583,835
売上総利益	1,434,208	1,355,498
販売費及び一般管理費	896,304	938,322
営業利益	537,904	417,176
営業外収益		
受取利息	44,471	23,115
受取配当金	6,381	9,540
為替差益	41,884	16,649
その他	4,837	10,502
営業外収益合計	97,574	59,808
営業外費用		
支払利息	15,918	14,986
その他	561	－
営業外費用合計	16,480	14,986
経常利益	618,998	461,997
特別利益		
固定資産売却益	1,727	2,814
特別利益合計	1,727	2,814
特別損失		
固定資産売却損	2,504	3,600
固定資産除却損	－	3,449
貸倒損失	－	41
関係会社整理損失引当金繰入額	－	184
特別損失合計	2,504	7,275
税金等調整前四半期純利益	618,221	457,536
法人税等	174,805	152,309
四半期純利益	443,416	305,227
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	25,056	△10,576
親会社株主に帰属する四半期純利益	418,359	315,804

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年６月30日）
四半期純利益	443,416	305,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,109	93,863
為替換算調整勘定	△500,880	326,663
その他の包括利益合計	△495,771	420,527
四半期包括利益	△52,355	725,754
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,868	703,531
非支配株主に係る四半期包括利益	6,512	22,223

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間(自　2025年４月１日　至　2025年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	プリント基板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,897,794	165,158	7,062,952	－	7,062,952
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,091	－	1,091	△1,091	－
計	6,898,886	165,158	7,064,044	△1,091	7,062,952
セグメント利益	465,781	72,122	537,904	－	537,904

(注)セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間(自　2026年４月１日　至　2026年６月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	プラスチック成形事業	プリント基板事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,721,967	217,366	7,939,333	－	7,939,333
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,433	－	1,433	△1,433	－
計	7,723,400	217,366	7,940,767	△1,433	7,939,333
セグメント利益	319,839	97,337	417,176	－	417,176

(注)セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年４月１日 至　2025年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年４月１日 至　2026年６月30日)
減価償却費	320,631千円	323,337千円